

区別計画策定に向けた検討シート（南区）

1 区の概況

人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・人口は168,219人（H27国勢調査速報値）で本市の23.4%を占め、4区の中で2番目に多い。平成22年国勢調査から0.3%増加にとどまっている。 ・人口密度は1,319.6人/km²であり、市平均の910.9人/km²を上回り、4区の中で2番目に多い（H27国勢調査速報値）。 ・年少人口比率は15.2%（H22国勢調査）と中区と並び4区の中で最も高い。 ・高齢者人口比率は20.5%であり、4区の中で最も低い。 ・一世帯当たりの人員数は2.57人（H27国勢調査速報値）で4区の中で2番目に多い。 ・夫婦と子からなる世帯は32.6%（H22国勢調査）で、4区の中で最も高い。 	
地勢・都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ・南区は市の南部に位置し、平成17年の合併により、旧灘崎町エリアを含み、区域の面積は127.48km²と岡山市の約16%を占めている。 ・旭川右岸の干拓地と児島半島の丘陵地が、児島湾と児島湖を囲むように位置している。東には旭川が児島湾に注ぎ、中央に笹ヶ瀬川、南部に倉敷川が日本最大の人造湖（ダム湖を除く）である児島湖に注いでいる。 ・区域の過半が江戸時代以降の干拓地であり、南部には岡山市の農業の中心をなす広大な穀倉地帯が広がっている。経営耕地面積は4区の中で最も広く、その中でも田の割合が4区中最大。 ・岡南地域には臨海工業地帯が広がるとともに、大規模商業施設が立地している。 ・道路は、東西に国道2号バイパス、南北に国道30号が整備されている。また、県道岡山児島線、外環状線の整備を推進中。 ・鉄道は、区北部を北から西に抜けるJR瀬戸大橋線が倉敷市児島に、区南部を西から南に抜けるJR宇野線が玉野市宇野に接続。 	
地域資源	歴史文化伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・興除、藤田、灘崎地域には、新田開発の歴史を今に伝える樋門、堤防などの農業土木遺産が多くある。 ・彦崎地区には、国史跡にも指定され西日本有数の縄文貝塚である彦崎貝塚がある。
	自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海国立公園内にある金甲山、貝殻山からは瀬戸内の海を一望できるほか、児島湖及び隣接する阿部池は西日本では珍しい国の天然記念物である真雁（まがん）が越冬するなど、西日本でも有数の水鳥の観察地となっている。 ・迫川地区には、県南部最大級の桜である県天然記念物の大山桜（おおやまざくら）がある。 ・児島湖周辺では市民の手により河津桜（かわづざくら）が植樹されている。 ・箕島地区や迫川地区では、地域住民がホタルの生息を目指した活動を行っている。
	特産品	<p>農産物：干拓地区の米麦、藤田地域のレタス、灘崎地域の千両なす</p> <p>海産物：小串地区の海苔</p>
	公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・浦安総合公園、灘崎町総合公園、山田グリーンパークなど、大規模なスポーツ施設があり、身近にスポーツを楽しむ環境が整っている。 ・臨港グリーンアベニューや、浦安緑道、妹尾緑道、十一番川緑地など、暮らしに潤いを与える緑道公園がある。 ・岡南地区には、野菜、果物、鮮魚などを供給する中央卸売市場、花きを供給する地方卸売市場がある。 ・灘崎地区には、いちご狩りやぶどう狩りの体験や、地域で栽培された農産物を購入できるロードサイドマーケットがあるサウスヴィレッジが整備されている。 ・浦安地区には、小型機専用の飛行場である岡南飛行場がある。

区別計画策定に向けた検討シート（南区）

主な市の出先機関	<ul style="list-style-type: none">・ 南区役所・ 灘崎支所・ 6 地域センター（妹尾、福田、興除、藤田、児島、福浜）・ 2 福祉事務所（南区西、南区南）・ 2 保健センター（南区西、南区南）・ 10 公民館（灘崎、福田、南、興除、芳田、福浜、藤田、妹尾、光南台、岡南）
----------	--